

**堀内議員** それでは、通告どおり2点質問させていただきます。まず、1点目にゴミ処理施設の耐久年数について、1978年に竣工されたゴミ処理施設ですが、現時点で41年経過しています。もちろん、耐久年数はメンテナンス次第で変化しますが、他の施設に比べても長期に使用されていると考えます。古い施設になれば、メンテナンス部品の生産もなく、いざというときの対応にも不安がある状態と感ずるのですが、実際、残り何年ほど使用可能なのでしょうか。最悪の場合、近隣ゴミ処理施設への受入が困難で多額のコストが出る恐れもあります。また、万が一使用できない期間が発生した場合は、どのような対処が行われるのでしょうか。続いて、関係人口増加について、私がUターンとして帰郷してから、学生団体等、牟岐町に興味を持ってくれる方々が大幅に増えたと感じます。ふるさと納税の増加もその原因の一つですが、今後、寄附者に対して地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取り組みを求められると感じます。総務省支援策にある「ふるさと起業家支援プロジェクト」のような、クラウドファンディング型の資金提供など検討してみてもどうでしょうか。以上、質問させていただきます。

**枅富議長** 福井町長。

(福井町長 登壇)

**福井町長** 堀内議員から、ゴミ焼却施設の耐用年数についてと、牟岐町の関係人口の増加についてご質問を頂きました。まず、ゴミ焼却施設の耐用年数ですが、一般的に謂われているのが20から30年です。現在、ゴミ焼却施設設計施工大手の会社が、大部分の施設を管理していますが、通常は、使用年数30年代で改築されており、40年を超える物は管理したことがないと言っています。しかしながら、海部郡衛生処理事務組合のゴミ焼却施設は、昭和54年(1979年)4月の稼働から、およそ40年が経過しており、未だ改築予定も立っていないことから、今後、7年から10年間は使用を続ける必要があります。議員ご指摘のとおり、管理会社からは、既に交換部品がない物もあり管理が次第に難しくなっているとされており、この間にトラブルで停止することも考えられますが、業者からは、今後7年間は頑張ると言ってくれています。ただ、平成11年に建設したバグフィルターも2

0年が過ぎようとしており、こちらもそろそろ耐用年数が来ようとしています。15億7千万円と非常に高額な施設ですが、年数の経過とともに処理能力が落ちて来ていないかと危惧しています。何とか早期の改築を願うところです。また、トラブルにより処理が困難となった場合のごみの処理方法ですが、これは緊急避難的な措置ということで、常時ということではないのですが、まずは徳島市の廃棄物処理業者に依頼することになります。この容量が一杯になれば香川県の業者に依頼することとしています。ただ、一般廃棄物を他の市町村で処理をする場合は、その自治体の同意が必要とのことで、あくまで緊急避難的な措置ということです。次に関係人口の増加についてですが、ふるさと納税所管の総務省においては、『ふるさと納税は、地方自治体が自らの財源を確保し、地域の活性化に向けた様々な施策を実現する手段として、重要な役割を果たす制度であり、今後、ふるさと納税を行う方の裾野を拡大し、さらなる活用を推進すべき』との方針があります。そして、総務省では、現在2つの支援策を実施しているとのことです。その一つが、議員ご提案のふるさと起業家支援プロジェクトであり、もう一つが、ふるさと移住交流促進プロジェクトであります。議員ご存じのとおり、牟岐町では、平成29年11月より、ポータルサイト『さとふる』を開設し、ふるさと納税者の増加に取り組んでいますが、平成29年度実績で 129件、343万円、平成30年現時点での実績で200件、480万円となっています。牟岐町における課題は、返礼品目が少なく、また、納税者が好まれる肉、酒、高級果物などがないことから急速な拡大は困難と考えています。そのような中、新たな取り組みとして、地域課題の解決に向けたクラウドファンディング型のふるさと納税を活用し、起業家支援と牟岐町への関係人口の増加を図るのは素晴らしい取り組みだと思います。しかしながら、実際にこの『ふるさと起業家支援プロジェクト』を行う場合は、現在のふるさと納税の返礼品目の一つとして掲載すれば済むのではなく、役場でその事業内容を理解し、将来性を判断し、他の関係者等も交えながら協議し支援することになると思いますので、役場としても相当な事業量の増加を見込む必要があると思います。現在、牟岐町で地方創生を所管する産業課・地方創生室は、残業も多く、職員の負担も多くなっている状況ですので、私は、このような新しい取り組みをするのであれば、今後、担当を増やし、役場としても責任を持った取り組みができる体制づくりが必要であると考えます。当然、私の在任中は、できる限りの牟岐町創生を考え行動していきますが、やはり実際の取り組みは、次年度からとなりますので、新体制で再度、ご検討いただきたいと思います。

**枅富議長** 堀内議員。

**堀内議員** ありがとうございます。ごみ処理施設の問題は、地方でプラスチックを輸出するのがなかなか難しいというふうにされていますので、町民の方から実際に

どれぐらい持つのか、また、他に持っていったときに処理能力を他のごみ処理施設が上回っている状態にならないのか、最近よくテレビ、ニュースの力は凄いと思いますが、よく聞かれますので、できるだけ今の状況を町民の皆さんに周知していただきたいと思っています。関係人口の増加でふるさと起業家支援プロジェクト、クラウドファンディング型資金提供なのですが、次年度からになると思うのですが、やはり学生団体等々、関係人口がもの凄く増えてきていると感じます。先程も出ました観光協会の法人化に向けて新しく歩き出しているところなので、やはり体験のプログラムもふるさと納税の返礼品に増やしてみたりとか、クラウドファンディングを使って牟岐のキャリアサポートであったりとか、観光協会の活動であったりとか、宣伝の面でいうのもクラウドファンディングがあると思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。これで最後の質問になると思いますが、また、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。以上で質問を終わります。